

モノづくり匠の技 未来をつかむ

メカトロニクス京都2006

「06年4月に設置した米国支援室が中心となり、米国にペーパードキュメントを派遣して現地従業員の指導にあたる。金型の磨きや段取りといった機械設備の性能などで優れた熟練技術者の技を伝承し、生産効率を引き上げる。」

受注増大も利益確保に不安 効率生産など対応策強化

NKI(京都府長岡京市)は独自の生産活動を「NIPUS(新生産管理システム)」を取り入れており、主に多品種小ロット、特注品への対応で、リードタイム短縮やコストダウンといったパースタリムを取り組んでいる。06年4月に

NKI(京都府長岡京市)は独自の生産活動を「NIPUS(新生産管理システム)」を取り入れており、主に多品種小ロット、特注品への対応で、リードタイム短縮やコストダウンといったパースタリムを取り組んでいる。06年4月に

海外で生産効率を引き上げる活動が始まったのが、ニチダイ(京都府向日市)だ。日本で培った職人技術を海外に展開し、生産性を高める。06年4月に

海外で生産効率を引き上げる活動が始まったのが、ニチダイ(京都府向日市)だ。日本で培った職人技術を海外に展開し、生産性を高める。06年4月に



生産現場はフル回転が続く。(写真はカシフシ本社工場)

京都の有力メカトロ企業 最新情報

片岡製作所 片岡製作所はYAGレーザー加工装置や2次元検査装置などでオリイーン・ナンパワンを目指す。独自の技術を手掛けた、ニッチでもその分野で日本一、世界一になることが目標だ。このほど開発したのが銅や金など難溶接材のレーザー溶接可能にするバルス型グリーンYAGレーザー「KLYRPG 20a」。532nmの波長を発生し、レーザー吸収率のピークに同調させる設計で、難溶接材の溶接を可能にした。

カシフシ カシフシは高精度ホバ盤を主力に各種工作機械を製造している。最近でラケットを使用せずにドリル加工できる環境配慮型ホバ盤を投入し、自動車業界などから高い関心を向けられている。一方、焼き入れ後の面車仕上げ加工の範囲を広げ、研削加工の形状や大型モジュールなどにも広がっている。その

で、従来の歯車研削に代わり、焼き入れ歯車の熱後仕上げを低コストで高精度・高品質に仕上げられる「ハードホッピング」が注目を浴びている。今後、高精度ホバ盤と超硬ホバに加工する加工のノウハウ、技術力で市場のニーズを取り込み、拡販していく構えである。

トクデン トクデンは発熱ローラー独自のノウハウを進めている。オリイナリテ、1重板の姿勢は加工装置の機構の内装化で自

で、従来の歯車研削に代わり、焼き入れ歯車の熱後仕上げを低コストで高精度・高品質に仕上げられる「ハードホッピング」が注目を浴びている。今後、高精度ホバ盤と超硬ホバに加工する加工のノウハウ、技術力で市場のニーズを取り込み、拡販していく構えである。

トクデン トクデンは発熱ローラー独自のノウハウを進めている。オリイナリテ、1重板の姿勢は加工装置の機構の内装化で自

川田 鉄工

川田鉄工はマシンセンター(MC)用インテックステールで逆回転可能な「タツテック」をシリーズ化。テール直径700、340mmの豊富な製品ラインアップでさまざまなユーザーニーズに対応している。同製品はNCインテックの3倍以上のクランプ力を持ち、重切削にも対応する。削り出し精度が ± 0.05 mm、繰り返し精度が ± 0.03 mmと高精度で、耐久性にも優れる。機械駆動式を採用したことから、さまざまなMCに取り付け可能だ。多面加工における品質、コストの向上に貢献する装置として、モノづくりの現場をサポートする。

ニチダイ ニチダイは切削加工なしに常温で自動車部品など金属製品を成形する「ネットシエ」技術をコアに据える精密鍛造の大手である。精密鍛造と金型技術の融合力を武器に、エンジンや車軸、駆動部品など自動車部品を中心に金型を提供している。顧客は国内に75、海外に10カ所あり、いち早く米国に進出、現地生産や販売力強化を進めている。金型以外では鍛造技術を活用した「セルエーション用VGTターボチャージャー」部品の生産を開始。環境規制強化を背景に成長戦略を推進する。フィルム事業は食品、液晶フィルム用ポリマー

カシフシ カシフシは高精度ホバ盤を主力に各種工作機械を製造している。最近でラケットを使用せずにドリル加工できる環境配慮型ホバ盤を投入し、自動車業界などから高い関心を向けられている。一方、焼き入れ後の面車仕上げ加工の範囲を広げ、研削加工の形状や大型モジュールなどにも広がっている。その

トクデン トクデンは発熱ローラー独自のノウハウを進めている。オリイナリテ、1重板の姿勢は加工装置の機構の内装化で自

ニチダイ ニチダイは切削加工なしに常温で自動車部品など金属製品を成形する「ネットシエ」技術をコアに据える精密鍛造の大手である。精密鍛造と金型技術の融合力を武器に、エンジンや車軸、駆動部品など自動車部品を中心に金型を提供している。顧客は国内に75、海外に10カ所あり、いち早く米国に進出、現地生産や販売力強化を進めている。金型以外では鍛造技術を活用した「セルエーション用VGTターボチャージャー」部品の生産を開始。環境規制強化を背景に成長戦略を推進する。フィルム事業は食品、液晶フィルム用ポリマー

京都の有力メカトロ企業 最新情報

海外市場でも世界ネットワークを確立し、計量システム分野のグローバル対応を投入、続いて

海外市場でも世界ネットワークを確立し、計量システム分野のグローバル対応を投入、続いて